

J Aバンク香川における地域密着型金融の取組状況（令和2年度）

J Aバンク香川（香川県農業協同組合と香川県信用農業協同組合連合会）では、農業と地域社会に貢献するため、平成31年度～令和3年度J Aバンク香川中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

このたび令和2年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

1. 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

J Aバンク香川は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

(1) 農業融資商品の適切な提供・開発

J Aバンク香川は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

令和3年3月末時点のJ Aバンク香川の農業関係資金残高^(注1)は10,031百万円（うち農業経営向け貸付金7,178百万円）、日本政策金融公庫等の受託貸付金^(注2)残高は1,306百万円を取扱っています。

(注)

- 1 農業関係資金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。
- 2 J Aバンク香川が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。

【営農類型別農業資金残高】（単位：百万円）

	令和3年3月末現在
農業	7,178
穀作	977
野菜・園芸	1,120
果樹・樹園農業	185
工芸作物	14
養豚・肉牛・酪農	1,691
養鶏・鶏卵	676
養蚕	—
その他農業	2,513
農業関連団体等	2,852
合計	10,031

(注)

- 1 「その他農業」には、複合経営で業種が明確に位置づけられない者および農業サービス業が含まれています。
- 2 「農業関連団体等」には、J Aや全農（経済連）とその子会社等が含まれています。
※ 本残高は日銀成長基盤強化資金等の原資資金を除いています。

【資金種別別農業資金残高】 (単位：百万円)

種 類	令和3年3月末現在
プロパー農業資金	9,594
農業制度資金	436
農業近代化資金	79
その他制度資金	356
合 計	10,031

(注)

- 1 「プロパー農業資金」とは、JAバンク原資の資金を融資しているものをいいます。
 なお、プロパー農業資金には、系統団体に対する日銀成長基盤強化資金等の原資資金を除いております。
- 2 「農業制度資金」は、①地方公共団体もしくは日本政策金融公庫の資金をJAバンク香川が転貸で融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことでJAバンク香川が低利で融資するものを対象としています。
- 3 「その他制度資金」には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】 (単位：百万円)

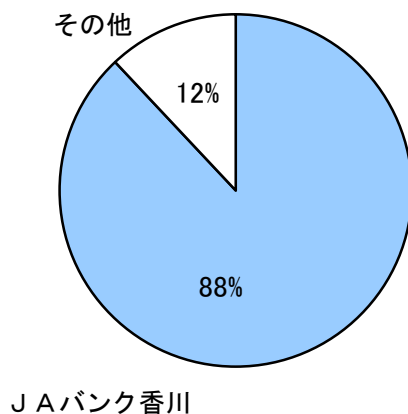
種 類	令和3年3月末現在
日本政策金融公庫資金	1,306
そ の 他	—
合 計	1,306

(注) JAバンク香川を窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

JAバンク香川は主要な農業関係の制度資金である、農業近代化資金の取扱いにおいてトップシェアとなっています。

【香川県の農業近代化資金の取扱いシェア】

農業近代化資金 融資残高シェア
 (2021年3月末時点)
 出典：香川県



(2) 担い手のニーズに応えるための取組み

J Aバンク香川では、地域の農業者のニーズに応えるため、様々な取組みを行っています。

J A香川県では、本支店の農業融資担当者が営農・経済部門等と連携しながら、農業融資に関する資金提案や経営相談対応等を実施しています。これを支える体制として、豊富な農業金融知識をもった農業融資の実務リーダーである「担い手金融リーダー」を令和3年3月末時点で4名、地域ごとの実務リーダーである「担い手金融サブリーダー」を21名配置しています。

J A系統独自の農業融資資格制度「J Aバンク農業金融プランナー」を導入しており、有資格者は令和3年3月末時点で県内に92名誕生しています。農業融資の実務に即した資格取得を通じ、農業金融に関する知識・ノウハウの一層の充実を図り、多様化・専門化する農業者の金融ニーズに応えていくことを目的としています。

また、J A香川県内に「担い手サポートセンター」を構築しており、担い手に対し事業部門を横断した総合的なサポートに取り組んでいます。

(3) J A内事業間連携の強化

農業者の多様なニーズにJ Aをあげて応えていくため、営農・経済事業等との合同会議・研修会の開催や農業者への同行訪問等により、これまで以上にJ A内事業間連携を強化しています。

(4) 農業メインバンクCS調査の実施と結果の活用

J AバンクではJ Aの農業融資に対する率直なご意見・ご感想をお伺いすることを目的として、お客様満足度の計測(農業メインバンクCS調査)を行っています。

得られた結果を活用しながら、農業者の声により応えることが出来るよう、農業メインバンク機能の一層の強化に取り組んでいます。

2. 担い手の経営のライフステージに応じた支援

J Aバンク香川は、担い手をサポートするため、ライフステージに応じて、次の取組みを行っています。

(1) 次世代農業者の育成支援

J Aバンク香川では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、青年等就農資金等を取り扱っています。

【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】 (単位：件、百万円)

	令和2年度 実行件数	令和2年度 実行金額	令和3年3月末 残高
青年等就農資金	37	189	936
就農支援資金	—	—	48
合計	37	189	984

(2) 食農バリューチェーン構築による農業・地域の成長支援(商談会・ビジネスマッチング)

J Aバンク香川は、農林水産業の事業力・収益力強化のため、商談会・ビジネスマッチングによる販路拡大支援等の農商工連携に取り組んでおり、「農業者と産業界の架け橋」として多様な機能を発揮しています。

【令和2年度 商談会等開催状況】

商談会名	開催日	主催者	J Aバンクの関わり方	参加団体数	総来場者数	内容(成約状況等)
FABEX 関西	令和2年 10月28～30日	かがわ産業支援財団	信連が共催	13社	24,023人	商談件数：552件
香川県農水産物商談会	令和3年 1月28日	香川県 三豊市商工会 信連	信連が主催	26社	16社	商談件数：84件

(3) J Aバンク香川講演会・セミナー等の開催・参画

J Aバンク香川では、一流の経営者を招いた講演会や、6次産業化・輸出・ファンドに関するセミナー等を開催し、担い手の経営力向上に貢献しています。

【令和2年度 講演会・セミナー等開催・参画状況】

講演会・セミナー名	開催日	主催者	対象参加者	参加者数	内容
令和2年度 経営発展支援 セミナー	令和3年 1月14日	香川農業法人化推進 協議会 (J Aバンク共催)	認定農業者 農業法人 関係団体	72名	講演 「経営継承の現状 事例 と課題」、「法人化による 経営継承」、「経営継承を 機会に考える働き方改 革」

(4) 農業法人とのネットワーク拡大

J Aバンク香川では、香川県農業会議や香川農業法人推進協議会と連携し、セミナー開催を行う等農業法人とのネットワーク拡大、関係強化に取り組んでいます。

(5) 被災者等への支援

J Aバンク香川では、鳥インフルエンザ発生により経営状況に影響を受けた農家を支援するため、セーフティーネット緊急資金、家畜疾病経営維持資金を取り扱っております。

また、新型コロナウイルス禍により経営状況に影響を受けた事業者を支援するため、セーフティーネット緊急資金を取り扱っております。

3. 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の徹底

J Aバンク香川では、担い手の経営実態やニーズに適した資金提供に努めています。

(1) 資本供与の取組み（ファンドの活用）

J Aバンク香川では、農業振興や環境に貢献する取組みを行う企業に投資し、その成長を支援しています。

(2) 6次産業化の支援

J Aバンク香川では、担い手の所得向上を支援するために、生産と販売のマッチング機能強化や、需要拡大が見込める分野の事業展開支援、いわゆる6次産業化促進支援を行っています。

(3) 負債整理資金による経営支援

J Aバンク香川では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

【令和2年度 負債整理資金の貸出実績】（単位：件、百万円）

資金名	令和2年度 実行件数	令和2年度 実行金額	令和3年 3月末残高
農業経営負担軽減支援資金	—	—	—
畜産特別資金	—	—	8
その他	—	—	33
合計	0	0	41

- ・ 農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っております。
- ・ 畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っております。

4. 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

J Aバンク香川では、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

(1) 食・農への理解促進

J Aバンク香川は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、J Aバンク食農教育応援事業を展開し、農業に関する教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。

教材「農業とわたしたちの暮らし」は、J Aバンクを通じて、令和2年度には県下の小学校 153 校へ 9,690 冊、特別支援学校等に特別支援教材 124 冊を届けました。

また、食農教育などの実践活動に取り組んでいます。

J A名	活動名	活動内容
J A香川県	かかし作り体験	小学生に向けてかかし作り体験を実施しました。
	収穫体験	小学生に向けて桃の収穫体験を実施しました。

(2) 地方創生への取組

J Aバンク香川では地方創生への取組みに積極的に関与するため、香川県が策定した「かがわ創生総合戦略」の政策目標のうち「農林水産業の担い手の確保・育成」に呼応し、J A香川県の農業インターン修了者が新規就農に従事する場合、当会が営農費用の一部を助成することにより、就農直後の経営の安定化を図ることを目的として、「J Aバンク香川新規就農助成要領」を平成28年4月1日に制定し、累計48名に助成を行いました。

今後もJ A香川県担い手サポートセンターおよび各農業金融センターと連携し、J A自己改革が目指す農業振興による農業所得の増大と地域活性化に貢献していきます。

また、県内の中学生を対象に、県内で生産される農産物の種類や産地、日々の食生活が地域農業と深く関わっていることへの理解と、県内で生産された農産物を県内で消費する地産地消の普及促進を図ることを目的に料理コンクールを例年開催しています(令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大に考慮し、中止としました)。

過去に開催した「2019 中学生による こだわり夕ごはん(地産地消&県産ブランド豚)料理コンクール」においては、66名の生徒から55作品の応募がありました。これらの応募作品を厳正に審査し、最優秀賞を含む上位5作品を選定のうえ、本コンクールの入選結果、調理風景、全応募作品等を掲載した冊子を作製し、県下中学校に配付しました。

以 上